

議長（竹島貴行君） ただいまの出席議員数は８人です。定足数に達しておりますので、休憩前に引き続き一般質問を行います。

５番 山崎知信君。

５番（山崎知信君） おはようございます。

私は３点ほど質問事項を書いてみましたので、よろしく申し上げます。

第１点は、コミュニティ広場、施設の要望でございます。

村民が幸せに暮らせる理想の村の実現に向け、住んでいてよかったと思える村を目指し、「ふなはしむら健康構想」を策定し、村総ぐるみで展開したいと村長は北日本新聞のインタビューに答えておられました。

さて、日本一健康な村を目指すために一番大切なものは信頼・安心です。ソーシャルキャピタルにおける隣近所のみでなく、その地域に住む多くの人同士の信頼ときずなが必要となり、そのためには、例えば、みんなで集い合うバーベキューコーナー施設やパークゴルフなどができる公園、心身等を鍛える武道館が必要と思われます。

本村には、舟橋会館にあったトレーニングルームの廃止、またオレンジパークなどがありますが、利用度が非常に少ないと思われます。

私は、立山町グリーンパーク吉峰のコミュニティ広場で行われた、ある政治家の県政報告会に参加してまいりました。まさに、そこは緑が多く、その施設にはバーベキューコーナーがあり、約６００人の地域の方々が楽しく歓談していらっしゃる、いわゆるソーシャルキャピタルです。その隣にはパークゴルフ場があり、たくさんの方がプレーしておられました。

また、この町には、今年度、武道館が５億８，０００万で建てかえする予定となっております。本村も人口が３，０００人を超え、１０年後の健康な村を目指すならば、コミュニティ広場、施設等が必要ではないでしょうか。

村長に誠意ある回答を求めます。

次に、防犯灯や街路灯をＬＥＤ化にです。

稲荷古海老江線、いわゆる湯めぐちから舟橋駅へ向かう道路です。そこに昨年度、地域からの要望で太陽光パネル型防犯灯が設置されました。日ごろそこを散歩している方が「この村は、環境によいエコに取り組んでいるところですね」と聞かれ、私は思わず、「はい、そうです」と答えました。まさか「この路線に電柱がないから」とは言えませんでした。

そこで、電気料の負担軽減、省エネ化になると思われる防犯灯や街路灯のLED化、導入計画に対し、調査費を計上してみてもいいでしょうか。

これは総務課長に伺います。

最後に、私は、6年前に議員になったときも、いつもこの質問をぶつけておるわけなんですけれども、それは南の玄関と商業施設の問題についてでございます。

今年度に入り、立山町利田地区に大型ショッピングモールが建設中です。聞くところによると、9月末ごろにオープンとのこと。そうすると、本村の商業施設に対し、最初はショッピングモールだったんですけれども、何か対策が生じてきていると思います。また、本村は南の玄関口に箱物等を計画しているとのことでございます。

そこで、プロジェクトチームのリーダーである副村長に伺いますが、まさか商業施設の動向を見て南の玄関を考えるとの答弁ではないでしょうか。その玄関、東芦原100番地は、もうセブン-イレブンの駐車場なんです。私は、前々からそこを村で購入し、玄関口としてはどうですかと言ってきましたが、あなたは全く耳を傾けようとはしませんでしたね。

そこで、副村長に、今後どうするのか。また、商業施設の動向を見てとの答弁は聞きあきました。前進した回答を期待します。

以上でございます。

議長（竹島貴行君） 総務課長 松本良樹君。

総務課長（松本良樹君） 私のほうから、山崎議員さんの防犯灯や街路灯のLED化についての質問にお答えします。

議員ご指摘のとおり、省エネ対策としてLED化が促進されております。環境省の公募事業として「小規模地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業」がことしの2月に募集されておりました。その公募事業は、人口15万人未満の自治体において、LED照明導入のための導入計画の策定と導入に係る費用の一部が対象となるものであります。本村においても応募を検討している際に、南砺市より、県内の自治体と一緒に応募してはどうかというお誘いがございました。それで、勉強会に参加をし、試算を行っております。

あくまで概算ということでご了解をいただきたいと思っております。村内にある防犯灯や街路灯は350基ほどありまして、現在の電気料は年間170万円ほどであります。これを全てLED化で試算いたしますと、電気料は約75万円に軽減され、現在の半分以下

になります。理由といたしましては、ナトリウム灯や水銀灯のワット数の高いものについては約3分の1程度になるというふうに聞いております。

電気料だけ見ますと事業参加のメリットが大きくあると感じられますが、この事業は外灯の交換について10年間のリース契約を行うこととなっております。現在、村の外灯の修繕費は年間約40万円程度、交換を含めましてですけれども、電気料と合わせて約210万円の支出となっております。これがリースとなりますと、改修費と維持管理で約210万円の支出となり、これに軽減された電気料を足しますと285万円となり、現在よりも負担が増えるという試算結果が出ております。また、この方式はリースであるため、従前のように村内業者への修繕を依頼することができなかつたり、新規取り付けは対象外であったりすることなどから、村の現在の方針には沿わないものと判断をし、参加を見送ったところであります。

なお、参考までに、現在この事業については、県内で、立山町さんを初めとしまして7市町が参加をされておると聞いております。

当該事業への参加は見送ったところではありますが、本村においては、路線単位でのLED化や新規取り付けについては原則LEDにすること、修繕についても老朽化が著しいものについては、LEDのものに交換する等の対策を以前から講じてまいっております。

実績について申し上げますけれども、平成22年には、路線として村道舟橋稻荷線、東芦原舟橋駅線、舟橋西部線の街路灯をLED化しております。また、取りかえや新規についての昨年の実績は13カ所となっております、これも全てLEDとしております。

今後は、今のところ路線としての計画は未定ではございますけれども、これまでどおりLED化を推進しまいりたいというふうに考えておりますのでご理解を賜りますようお願い申し上げます、答弁とさせていただきます。

議長（竹島貴行君） 副村長 古越邦男君。

副村長（古越邦男君） 山崎議員さんのご質問にお答えをさせていただきます。

ご質問の件につきましては、議員、お話にございましたとおり、これまでもその時々までの動きとその対応策をお伝えしてまいりました。経済性を含めました開発プランの方向性が決まらないために時間がかかっているということをご承知かと思えます。

議員、今ほどお話がありましたとおり、現在、立山町利田地区でショッピングセンタ

ーが建設されている中で、先般、開発グループの最高責任者が再度村長を訪ねられまして、私の周りでは、商業施設はもう無理ではないか、新たな切り口も必要でないのかと言う人もおるのだが、この立地環境を生かして、これまでどおりの商業施設を進めたい。利田の施設との近接性がプラスに働き、逆に集客力が高まりシナジー効果を上げることができる。これまで以上の計画としたいというふうに、商業開発計画の続行を村長に示されております。

また、新たな動きといたしましては、造形美術関係者の立地も検討されてきております。

村といたしましては、芸術文化の創造拠点として作品展示や教室の開設等、地域間交流に資する活動も期待できます。また、新たなコミュニティーの誕生と期待もできますので、地理的条件も含め、情報発信機能を持った施設としての魅力が生まれるものと考えてもおります。

村は、今年度の重点事項の「ふなはしむら健康構想」に基づいた事業の取り組みをスタートさせております。日常生活を取り巻く社会環境の全てが健康と密接に関係している中で、生涯を通じて舟橋村に住んでよかったという村づくりを目指すためにも、ふなはしむら健康構想の理念を踏まえた、継承すべき自然環境や豊かで美しい農村景観、産業振興と潤いの生活環境に必要な施設整備をするためにも、キーワードを「環境」とした将来のあるべき村の姿をうたう環境整備計画を整える必要があるというふうにも思っております。

また、20代が極端に少なく、30代、40代が多い村の人口構成を考えますと、将来急激な高齢化社会となるおそれがある中、活力ある地域社会を持続させるためにも、新たな視点での人口増対応策もこの整備計画のベースに盛り込むことも必要と思っております。

商業地域における新たな動きもありますが、まだ構想段階でございます。具体的な計画をまとめるためにも、健康構想を踏まえた支援ができないか。官と民がそれぞれシナジー効果を生み出せないか。地域社会の環境づくりは健康構想と直結する部分も多うございますので、議員各位、関係者各位、地元の皆様等のご意見もいただきながらこの問題について取り組みをしていきたいというふうに考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長（竹島貴行君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 5 番山崎知信議員さんのご質問にお答えいたします。

地域コミュニティ広場、施設についてであります。

地域コミュニティの件につきましては、先ほど森議員さんの質問もございましたので申し上げたところでありますが、ちょっと重複するかもしれませんが、もう一度申し上げたいと思います。

人口増に伴い新旧住民数が拮抗する舟橋村におきましては、他の自治体に増して重要なキーワードであり、健康構想でも「健康なコミュニティ創り」を目標に掲げておりますので、議員ご指摘のとおり、住民交流は大切であり、そのための場となります広場なり施設づくりは極めて重要なことだということは認識しております。

ご承知のとおり、本村は日本一面積の小さな、コンパクトな村であります。県都富山市へは非常に交通利便性が高いということもございまして、富山市のベッドタウン化が進みまして、昼間人口が少ないのが特徴でもあります。

しかし、今後、高齢者の割合が年々高くなることが予測されておりますし、これに比例いたしまして、着実に昼間人口が増加してまいるということは予測されるわけであり、このような要因からも、中長期を見据えた、地域の中に住民が集える施設、居場所づくり等を整備することは、大変重要なことだということは考えております。

一方、村が目指しております健康コミュニティの醸成の件につきましては、施設がなければできないということでもないと思っております。例えば自治会活動やボランティア活動などの地域活動や趣味によるサークル活動などもコミュニティ醸成の大きな因子であると思っております。

この視点から、地域コミュニティとは、与えられた環境（施設）の中で生まれるものだけではなく、集う環境そのものをつくり上げるものでもあると思っておりますし、さらには住民のニーズに応じた行政による施設整備と住民による地域内交流が車の両輪のごとく回転して初めて地域コミュニティが醸成されるものだと考えております。

そして、この形態こそ第4次総合計画に掲げております「協働」であり、健康構想に掲げております「ソーシャルキャピタル」であるということもご理解いただきたいと思います。

先ほど山崎議員さんがおっしゃったように、やはり他町の、隣町の吉峰の話もされましたけれども、そういった広場は、あるいはまた施設というのは当然必要になってくるわけありますので、今後、健康構想の具体化といえますか、具現化の中で十分検討す

るということと、私自身、中新川広域行政事務組合の空き地を利用でないんですけれども、そういった施設づくりに、今、検討してもらうように話をしておりますので、そういった中で舟橋村の新たな交流拠点をつくり上げてまいりたいと、そういうふうにも考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたしまして、私の答弁にかえさせていただきます。

よろしく願いいたします。

議長（竹島貴行君） 5番 山崎知信君。

5番（山崎知信君） 私の村のことを言いますとなんですけども、私の村は3世代交流会をやっております。年に1度、湯めぐこちのバーベキューコーナーでバーベキューを開いて、1家族、会費千円、ひとり暮らしの老人はただということで、ほとんど参加して、もううちにいるのはネズミかネコかというぐらいにみんな参加していただいて、それぐらいに盛り上がっている村でございます。この村も、先ほど村長さんがちらっと言いましたけれども、公共下水のそばにパークゴルフ場を計画しているということなんで、なるべく早く実現すればよいなと私は思いますので、よろしく願いします。

それと、南玄関の話ですけれども、何か遠いような計画なんで、これは6年前からでまだ遠いがですけども、この後まだまだそういう遠いような計画なんでしょうかね。その点、再度お伺いいたします。

以上でございます。

議長（竹島貴行君） 副村長 古越邦男君。

副村長（古越邦男君） 山崎議員の再質問でございます。

南の玄関の件で、まだまだ時間がかかるのかということでございますが、今ほど答弁させていただきましたとおり、青写真を早急につくるということの中で対応してまいりたいというふうに思っておりますので、これからも議員各位の情報等、やりとりさせていただきながら進めていきたいというふうに思っております。

ご理解をいただきますようお願いいたします。